

第52回
定期大会

「社会環境の変化に対応した働き方の実現に向けた取組みの推進」に取り組む方針を決定！

～ 2020年度の総合生活改善闘争「統一共闘課題」～



「統一共闘課題」とは？

私たち生保労連は、8月の定期大会で、全組合が取り組む「統一共闘課題」として「社会環境の変化に対応した働き方の実現に向けた取組みの推進」を掲げる方針を決定しました。

「統一共闘課題」とは、「賃金改善」「営業支援策の充実」以外の項目で、全組合が参加・共闘して取り組む課題のことを言います。2010春闘で初めて設定して以降、共闘効果・相乗効果を発揮するうえで重要な機能を果たしています。

コロナ禍による生活様式の変化に対応した働き方を実現するために

新型コロナウイルス感染症の影響により、社会全体の生活様式や価値観は大きく変化しており、生保産業においても、デジタル技術を活用した非対面（非接触）による営業活動やテレワークの拡大など、働き方の変化が生じています。

こうした状況を踏まえ、今年度の「統一共闘課題」では「生活様式等の変化に対応した働き方の実現」に取り組めます。具体的には、営業現場の働き方への影響やテレワーク制度の実施状況などの把握に努め、関連する制度・施策の整備・充実をはかりたいと考えています。

統一共闘課題

社会環境の変化に対応した働き方の実現に向けた取組みの推進

各組合は、それぞれの課題認識に基づき以下に取り組む。

1. 生活様式等の変化に対応した働き方の実現
 - 営業現場の働き方への影響の把握と対応策の充実
 - テレワークをはじめとした柔軟な勤務体制の整備と活用促進
2. 「生産性の高い働き方」と「生活時間の充実」の相乗効果をより意識した取組みの推進
 - 総労働時間短縮に向けた取組みのさらなる推進
 - 生活時間の充実に向けたサポートの推進

また、これまで取り組んできた総労働時間の短縮に向けても、『「ワーク・ライフ・バランスの実現」に関する今後の取組みの方向性』（下の記事を参照）に沿って、ワークとライフ双方の充実をはかる観点から、『「生産性の高い働き方」と「生活時間の充実」の相乗効果をより意識した取組みの推進』に取り組めます。

社会環境が変化する中でも安心して働けるよう 一丸となって取り組む

生保労連は、コロナ禍で社会環境が大きく変化する中においても、組合員のみなさんが安心して働くことができるよう、各組合の労使協議や取組みを強力に後押ししていきます。